

各惑星圏観測所への出張申告

惑星プラズマ・大気研究センター

惑星圏観測所への出張にあたっては安全な観測が行えるよう、以下を遵守下さい。特に冬季は気象条件により厳しい環境になるので、十分な注意をお願いします。

1. 観測出張にあたって

- 1) 研究室の長(または担当教員)の了承を得る。
- 2) 携帯電話を携帯すること(公用携帯電話は合同C棟S313室にある。尚、飯館観測所及びその周辺ではDoCoMo、auの携帯電話は接続出来るがSoftBankは接続できない。SoftBankの携帯電話を使用している方は、公用携帯電話(au)を持参すること。)
- 3) 夜間観測・作業および冬季の移動は、原則として2名以上でおこなうこと。
- 4) 夜間観測・作業を行ったときは原則として宿泊し、休養をとった後に帰着すること。
- 5) 特に冬季は、道路状況(積雪/除雪)及び気象状況の確認を行うこと。
 - ・ 蔵王の積雪状況は阿部技術補佐に問い合わせること。
 - ・ 川渡・蔵王・飯館の除雪が必要なときは事前に依頼する必要があるため、川渡:熊本、蔵王・飯館は三澤に相談すること。
- 6) 冬季の夜間は、原則として22時～6時は山間部(目安として、蔵王:川崎～観測所間、飯館:伊達～観測所間等)の移動を行わないこと。やむを得ず移動を行う場合は担当教員に了解をとり、路面状態に十分注意し行うこと。
※冬季の仙台～蔵王観測所間の往来は、川崎経由ではなく村田経由を薦める。

2. 往復時の連絡

- 1) 観測所到着時、及び、仙台帰着時には、担当教員に連絡することを原則とする(出発時に担当教員と打ち合わせること)。
- 2) 観測及び気象条件等の事情により帰着予定時間に変更が生じるときには、担当教員に連絡すること。

3. 出発時のチェック事項

- 1) 観測所の鍵、燃料、バッテリー、タイヤの確認。
- 2) 冬季は、非常用具を携帯すること。
 - ※ 非常用具内容(懐中電灯、防寒着、防寒靴、ミトン、スコップ等)
 - ※ 非常用具はタウンエース車内の他、合同C棟3F WC脇倉庫に一式用意されている。個人の車を使用するときも携帯すること。また、使用後は速やかに返却すること。
- 3) 冬季は、冬タイヤ装着車のみ運行可とする。

4. トラブル発生時

- 1) 通行に困難な状況が生じたら無理をせず引き返し、担当教員に連絡すること。
- 2) 夜間に吹雪等により車が動けなくなったとき等は、原則として徒歩避難は行わず、携帯電話で担当教員に連絡を取ること(車中で夜明けを待つ。ただし待機中の車の排気ガス等には十分注意すること)。

●事故発生時対応手順:

① 負傷者の救護 → 路上の危険防止 → 警察への連絡

② 保険関係の連絡

公用車使用時の事故時連絡先

<初動> 保険会社(損保ジャパン)事故サポートセンターへ直接連絡

連絡先: 損保ジャパン 0120-256-110, <https://www.sompo-japan.co.jp/covenant/acontact/automobile/>

<大学への連絡> 保険会社へ連絡の上、理・施設管理係へ連絡(本部・調達第2係経由で保険会社へも連絡される)

連絡先: 東北大学理学部・理学研究科 経理課施設管理係 022-795-6358, sci-kanri_AT_grp.tohoku.ac.jp

<ロード・サービス依頼(必要時)> JAFへ連絡 連絡先: 0570-00-8139 (会員カードは公用車カードケース内)